

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	水質管理事業	コード	01-01-09-06	担当課係	水道工務課水源係
事業実施期間		担当者	岡崎 英二	電話	66-9791
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	上水道及び簡易水道			
	施策	水質管理の徹底			

事業について	
目的	市民へ給水する水道水としての水質基準に適合する浄水の水質管理を行い、安全で良質、しかも安価な水道水の安定供給を図る。
対象 (誰のために)	備前市の上水道利用者
内容	水質検査(定期・毎日)、濁度管理(毎日)

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
水質検査(原水・浄水基準項目)	12ヶ所		
水質検査(原水・浄水省略不可項目)	36ヶ所		
水質検査(原水・浄水簡易項目)	96ヶ所		
水質検査(水質管理目標設定項目)	4ヶ所		
水質検査(原水指標値)	72ヶ所		
事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 5,538 人件費 11,781 合計 17,319	国県補助金等 受益者負担 17,319 市債 一般財源等 0	直接事業費 人件費 合計 0
必要人員	1.60	人	人
結果指標①	結果指標名	水質検査(原水・浄水基準項目)	
	結果指標量	12	
	単位	ヶ所	
	対前年比	—	
	事業費	1,755,600	円
単位当たりコスト①	146,300	円	円
結果指標②	結果指標名	水質検査(原水・浄水簡易項目)	
	結果指標量	96	
	単位	ヶ所	
	対前年比	—	
	事業費	462,000	円
単位当たりコスト②	4,812	円	円

事業の成果			
成果指標名	水質基準の適合率	式又は説明	定期水質検査の結果が水質基準に適合している割合
成果指標量	17年度 100%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である [関係法令等: 水道法 第20条]
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	今後さらに厳しくなる水質検査に対応するため、広域水道企業団、岡山県健康づくり財団と連携しながら技術力の向上に努める。	A

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量① 12	結果指標量② 96
目標値	成果指標量 100%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	濁度管理の整備	平成19年度	クリプトスポリジウム対策のための監視強化

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。